

令和5年度諏訪市産業連携事業補助金（コレパクト@SUWA）採択事業

銀杏プロジェクト 試食会

この度、諏訪市の天然記念物でもあり、様々な伝承がある“仏法紹隆寺”の「めおと大イチョウ」を地域資源として活用していくプロジェクト「銀杏プロジェクト」が、令和5年度の活動報告及び銀杏の試食会を開催します。当日市長も参加予定です。ぜひご取材ください。

活動報告・試食会について

■開催日程

令和6年2月22日（木）午前11時00分から正午

■開催場所

仏法紹隆寺（諏訪市四賀4373）

■内容

- ・令和5年度活動報告
- ・めおと大イチョウぎんなん試食会

※参加には予めお申し込みが必要です。詳しくは添付の資料をご覧ください。

■問い合わせ

（有）クローバーデザイン宮本 携帯：090-1106-8221 Mail：satoko@428.co.jp

報道関係者 各位

めおと大イチョウぎんなん 試食会のご案内

ぎんなんプロジェクト

代表 宮本総子

貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、私どもぎんなんプロジェクトでは、諏訪市の天然記念物でもあり、様々な伝承がある“仏法紹隆寺”の「めおとイチョウのぎんなん」を商品化すべく昨年より活動してまいりました。本年、皆様にご試食していただくところまでになりましたので、ここで関係各位に報告及び発表をしたいと思っております。何卒、ご出席を賜り、今後ともお力添えを頂けましたら幸いに存じます。※なお、本プロジェクトは諏訪市産業連携事業補助金を賜りながら活動しております。

【プロジェクト概要】

日本に最初に伝来したイチョウの子孫という伝承もあり、仏法紹隆寺の「仏のイチョウ」と諏訪上社大祝（かつての生き神様）諏方邸の「神のイチョウ」が夫婦であるという大イチョウ。仏法紹隆寺の「境内でも男木女木があり夫婦」となっている。その実「ぎんなん」を食べると子孫繁栄、子授けのご利益があるという。そのぎんなんを収穫し地域の魅力へと昇華させるプロジェクト。今までは、参拝者が拾う以外は廃棄をされていたぎんなんの有効活用を図る。また、堆肥化したイチョウ葉でコメ作りなどに活用し、他にはない地域のお米作りにチャレンジする。

【プロジェクトメンバー】

- ・ぎんなん及びイチョウ葉提供： 仏法紹隆寺 住職 岩崎宥全
- ・ぎんなん商品化： 特定非営利活動法人ふおれすと 森の工房あかね舎 井上成美
- ・イチョウ葉たい肥によるイチョウ米の商品化： 川岸食糧販売企業組合（やぎさんのお米屋）代表理事 八木雅敏
- ・ぎんなん果肉及びイチョウ葉のたい肥化：（株）アイ・コーポレーション
環境リサイクル事業部 辰野営業所兼イイゴミステーション 所長 出井晶
- ・プロジェクトデザイン （有）クローバーデザイン 代表取締役 宮本総子

記

めおと大イチョウぎんなん 試食会

日 時：令和6年2月22日 午前11時～12時

場 所：仏法紹隆寺（諏訪市四賀4373）

※お名刺をご用意ください

★ご出席いただける方は、QRコードを読み取りお返事をお送り頂くか、宮本までご連絡ください。



▼お問い合わせ・参加のお返事はこちらまで

（有）クローバーデザイン宮本 携帯：090-1106-8221 Mail：satoko@428.co.jp